



第 424 号 平成 25 年 11 月 1 日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 奥村正治

京都市学校医会スポーツ医事班復活

会長 奥村正治

平成 25 年 10 月 14 日（月・祝）、雲 1 つない秋晴れの日に、西京極陸上競技場にて第 42 回京都市小学生陸上競技記録会が開催された。毎年、小学生の記録会は定例会のごとく、夏の京都市小学生水泳記録会、10 月の西京極で行なわれる陸上競技記録会、12 月と 1 月に鴨川河川敷で行なわれる駅伝競走記録会と持久走記録会がある。これとは別に 10 月～12 月にかけて、小学生大文字駅伝の予選会（支部ごとに計 17 支部）それと 2 月に本番の大文字駅伝と大きく分けると 6 つの大会が行なわれている。

これにプラスして、本年度より、中学生のスポーツ大会に於いても、種目により医師の参画を求められてきた。中学の部は、本年度、府医師会のスポーツ医学委員会の流れで、医師派遣が行なわれているが、いずれ当学校医会の方に鋒先が向いて来る様な気配である。そうなると派遣医師の総数は増加の一途となり、理事の先生方の参画だけでは出番が多くなって来る事が考えられ、本年度より以前学校医会に定着していたスポーツ医事班の再編成を会員の先生方をお願いいたしましたところ、21 名の先生方が、お声をあげていただき、この秋の大会よりスポーツ医事班の先生も加わっていただいてスポーツ大会の医事班の編成が出来る様になりました。基本的には医務 2 名のところ、1 名は理事の先生、1 名はスポーツ医事班の先生で編成という事になります。

大文字駅伝は、大勢の先生方の参画も必要ですが、参加校の校医の先生にも御協力いただいておりますので、スポーツ医事班の先生方の出番は少ないかも知れませんが、本年度もお願いする事態があるかも知れません。

早速、本年の陸上競技記録会には生田先生、駅伝

記録会には十倉先生、持久走記録会には竹中先生が御出席いただく予定になっております。夏の水泳記録会は、診療のあるウィークデーに記録会が開催される為、理事の先生をお願いせざるをえないと思います。

本年の陸上競技記録会の報告に移ります。800m 競技（補助競技場）は、生田先生に行っていただきましたので、その分は、生田先生をお願いいたします。医務室をおとずれた児童の方は 15 名で疾患別に分けてみますと擦過傷 9 名、打撲症 3 名、熱中症 2 名、過呼吸 1 名、体調不良 1 名、骨折 1 名で、擦過傷と打撲症が重なったケースもあり、保健室に来た児童は 15 名となります。（すべて 800m も含んでおります）残念ですが、本年も 1 例の骨折が発生いたしました。

大会は 10 時の気象条件は晴れ、気温 24.2℃、湿度 34% と好コンディションでした。午後は少し暑いぐらいという感じでした。10 時以降の気象データの報告はありませんでした。

9 時 45 分の開会式をスタートに 100m 走、800m 走、50m ハードル走、走り幅跳び、走り高跳びと 4 名で走る 400m リレー走の 6 種目でした。いずれも男女別の種目になります。エントリーの小冊子によりますと 161 校の参加校、男子 1,733 名、女子 1,418 名、計 3,151 名の児童の方々が競技いたしました。本年は残念ですが、各種目とも大会新記録の結果はありませんでした。

本年は計測のスーパーストップウォッチ（電動で計測・記録）の故障により、すべて人力にて行なわれた為、記録の部は大変混雑していた様でありました。

予定をすこしオーバーし、5 時すぎに大会は終わりました。

第42回京都市小学生陸上競技記録会に出務して

朱雀第二小学校医 生 田 篤 也

平成25年10月14日（月・祝）に西京極陸上競技場および補助競技場にて開催されました。当日は早朝から雲一つない秋晴れの爽やかな一日の始まりで、温度23度・湿度34%・微風（朝10時・補助競技場）のコンディションでした。

奥村正治先生は主競技場、私は補助競技場に別れ業務に就きました。補助競技場では男女の800m競技が男子の部25組、女子の部19組にて10:00から女子の部から始まりました。

女子は1名が400mの2周回の第3コーナーにて接触にて転倒し、担架にて医務室に搬送される四肢の痺を伴う過呼吸状態で意識は清明で、以前にもバスケットの試合中に既往がある事から数分毎のペーパーバック法を行い、下肢の擦過傷の処置後母親と歩いて退室する。（*PaCO₂が正常化する前に低酸素血症が生じることが有り、過呼吸にて心筋虚血が生じている患者にペーパーバック法を施行すると低酸素血症より急変することがあるなどの理由で、現在では推奨されていない。）

1名はゴール後歩いて医務室に来室。頭痛、咽頭部違和感、嘔気、軽い心窩部痛の訴え有り。水分摂取を聴取すると、約3時間前とのことで軽度の熱中症と考えスポーツ飲料の摂取を指示する。擦過傷の処置をした後、症状の軽快後歩いて医務室を退室する。

予定通り11:40から男子の部が始まりました。前半は何事も無く過ぎていきました。競技も終盤の13:10からの組に4名の生徒が次々と医務室に来室しま

した。全員が転倒によるものでゴール後歩いて来室し、1名は左膝部を打撲し同部位の腫脹、圧痛を認め湿布処置し整形外科の受診をすすめる。擦過傷の治療後保護者と歩いて退室する。他の3名は擦過傷の処置後退室する。14:15に補助競技場の業務を終了し主競技場にもどる。救護の大坂真知子先生（醍醐西小）には非常にお世話になりました。

主競技場では約45分遅れで男子4×100mリレー、各競技の表彰式が行われていました。

私の担当した最後の男子生徒は、4×100mリレーの第3走者でバトン渡しの前に右膝の違和感を感じたが、バトンを渡すためにそのまま走りその後横向きに転倒する。しばらく座り込んだままだったが、医務室まで歩いて来室する。診察するも外見は腫脹等の異常を認めず。また同部位の圧痛も認めず。右膝を他動的に曲げようとするとう膝関節のいたみの訴え有り。関節内の病変と考え右膝関節をシーネ固定し整形外科の受診を指示する。歩行を禁止し車イスの使用を指示する。午前中に800m競技に出場し完走。異常なし。クラブでサッカー部に所属し以前に膝の外傷があつたらしいとのことも原因の一つと考えられる。保護者に連絡がつかず、小学校の校長先生が迎えに来られ、生徒を自宅まで送り届けられる。記録会の翌日、武田総合病院を受診し、右膝関節の一時脱臼後の右膝蓋骨の骨折と診断される。救護の小原さかえ先生（市教委）には非常にお世話になりました。

第18回ふれあい子ども相撲大会に出かけて・・・

福西小学校医 奥 村 正 治

学校コミュニティプラザ事業「洛西南ゾーン」が主催となり、相撲大会が18回目をむかえました。大原野中学校に本式の土俵があり、そこで小学生の子供達が、団体戦の相撲大会を行ないます。6年生は大原野神社の相撲大会がある為、3年生・4年生・5年生の大会です。今年は、9月21日（土）連休の入口で、お昼、正午より受付が始まり、開会式や何やかんやがあり、4時半に終了となりました。医師参加は、3年前より関わっております。なぜか不思議

ですが、3年前までは、毎年の様にケガ人が出て、救急車のお世話になる事も多々あった様ですが、ここ3年間そのケースはございません。

本年は、右第5趾の骨折の子供さんが出ました。本番ではなく練習の時に、他人がぶつかって来て、将棋倒しの様になり、ひっくりかえった時に骨折が起こった様です。土曜日午後でしたが、幸い近くの病院の整形外科の先生がおられ、受診していただく事になり、大事にはいたりませんでした。

練習とはいえ、子供達だけで「どうぞ」というスタイルは不十分で、関係者の中から大人の人、先生とか保護者とかが見守るの必要がありと思われました。

他に、擦過傷のケースの子供さんは今回多かったです。10人は出たでしょう。

ここから、会員の先生にお願いします。私の様に、

学校が関係をもったプログラムで、医師として出務なさった先生がおられましたら、いつ・どこで・どのようなスポーツが行なわれたかを、学校医会事務局にお知らせいただけたら・・・と思います。この部分だけ、学校医会の会長としてお願いします。

京都市立養徳小学校プール事故第三者調査委員会報告 3.

今熊野小学校医 長 村 吉 朗

前回は8月19日に実施されました再現検証に関し報告いたしました。その後検証に協力していただいた児童や保護者からの意見の聴取とともに関係者からの聞き取りを行ってきましたが、10月9日に第3回目の全委員が集まっての話し合いが行われました。今回はその時の記者会見の様子を報告いたします。

記者会見には安保委員長と石田副委員長が対応されました、以下はその概略です。

参加社 朝日、読売、産経、毎日、京都、NHK、ABC

●記者 ○調査委員会

○8月19日の再現検証について、検証後データの分析を進めてきたが、本日は、この件について意見交換を行った。11月中旬に第4回会議を開催予定。次回会議では、医学的データも含めての意見交換を中心に議論する予定。

●市教委が行った検証結果と比較し、どういう違いがあったか。

○市教委の調査との比較は、特に議論することではなく、調査委員会が独立した立場で独自に得たデータにより、分析していくものと考えている。また、69名の児童に参加いただいたが、これまで想像しかなかった自由遊泳の状況等が明らかになったということでも、非常に詳細な検証ができたと考えている。

●客観的なデータとは、どういったものか。

○指導中に教員が実際に移動する時間や、発見から救急車が到着するまでの時間の計測など。

●空白の時間は埋められたのか。

○データに色々幅があることもあるので、具体的なことは現時点で申し上げられないが、ある程度は

絞り込めている。報告書では御説明できると思う。

●時間以外のデータは、どういったものか。

○事故当日の教員や子どもの動きなど。また水深も再現しており、プール内での、様々な身長の子どもの状況についても、検証できた。

●羽菜さん役は同じ身長か。

○ほぼ同様の体型の方に、御協力いただいた。

●再現検証当日の監視体制は、どの程度のものであったか。

○ボランティアやライフセーバー等監視役には約10名。その他、調査委員、代替役の教員、事務局職員をあわせて、約50名の体制。

●医学的データとはどういったものか。

○死亡に至るまでの身体的な情報や医学的データから読み取れる事実関係等を明らかにしていくということ。

●第1回会議の際、当日参加していた児童への聞き取りも行うという話であったが。

○まずは客観的データによる分析を行っているところ。様々な状況の中で、聞き取りについては、十分に配慮する必要があると思っており、慎重に検討していきたい。

●全体のスケジュールは、年度内には結論が出るのか。

○7月に発足して以来、膨大なデータを分析しているところ。今後、報告書の形式等についても検討しながら、時間をかけずにまとめていきたいが、スケジュールは未定。事実関係の究明だけでなく、今後安全なプール指導が行えるようなことも盛り込んでいく予定であり、この2つの内容を合わせた形でまとめていきたい。

以上が記者会見の概略であり、現在の所この程度しか公開できない状況です。

第6回 常任理事会

平成25年11月2日
於：事務局

出席者 奥村会長、林副会長、井本専務理事、杉本・山内・安野各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 第24回 子どものこころと身体懇話会 10/5
於：京都第二赤十字病院会議室 30名出席
2. 色覚相談 10/2、10/15、10/29 各2名
3. 精神衛生研究会 10/10
4. 平成25年度 京都市小学生陸上競技記録会
10/14 於：西京極陸上競技場
奥村、生田先生出務
5. 京都市学校保健会 第2回研究委員会及び常務委員会 10/15 於：京都市総合教育センター
杉本、奥村出席
6. 平成25年度 子どもの健康週間 子育て支援シンポジウム 10/19 於：こどもみらい館
117名出席
7. 京都市中学校ラグビー大会 10/19
於：宝ヶ池競技場 奥村出務
8. 平成25年度 京都市学校保健会健康教育シンポジウム 10/22 於：京都市総合教育センター
シンポジスト：杉本
9. 平成25年度 一般社団法人京都府歯科医師会会員大会 10/26 於：ANAクラウンプラザホテル京都 林出席
10. その他

<協議事項>

1. 産業医について 位置付け、報酬体系などについて京都市教育委員会と協議
2. 食物アレルギー対策検討会議 出席委員について 各学期に1～2回予定 安野出席
3. 平成26年度 総会講師について
平成26年4/19 講師決定
4. 新年会について 平成26年1/11
於：れんらく船
5. 感染症講演会 講師について 平成26年3/1
於：ANAクラウンプラザホテル 講師選定
6. 新任校医研修会について 平成26年3/27予定
7. 東山泉小中学校校医について
8. その他

<関連学会・各種協議>

1. 第63回 全国学校保健研究大会
11/7、11/8 秋田市
2. 第44回 全国学校保健・学校医大会 11/9
秋田市
3. 第13回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会
11/9 於：メルパルク京都
閉会の挨拶：山内
4. 色覚相談 11/12、11/19、12/3
5. 精神衛生研究会 11/14
6. 平成25年度 京都市学校保健会研究発表会並びに表彰式 於：京都市総合教育センター
11/16 14:00～
7. 平成25年度 京都市学校保健関係者表彰祝賀会・懇親会 於：京都ロイヤルホテル&スパ
11/16 17:30～
8. 平成25年度 京都市小学生駅伝競走記録会
12/1 於：鴨川周回コース
9. 第7回 常任理事会 12/7 14:00～